

2017.7.23(日)

午前11時30分～ 参加自由

平和の鐘を鳴らそう



○「鐘撞(かねつき)堂」の鐘は、延享(えんきょう)四年(1747)6月19日に作られました。製作は 早山(そうやま)掃部介安次・六郎右衛門吉茂・清左衛門伊次です。

○1868年の戊辰戦争では、西軍の標的となり、日夜、弾丸雨のように注がれ、鐘楼守(しょうろうもり)の上野磯次郎は鐘楼上で亡くなりました。しかし、百木(ももき)多七、上野善治、佐藤常治、加藤庄助、上野圓之助、面木三平、小野吉衛門が交替で時を告げました。

すると、薩摩藩士種子島清之助の記録によると、砲撃は、鐘楼にも集中しましたが鐘守は動じず、正確に時を告げていたという。ついに、セコンド(懐中時計)の時を合わせるほどになっていたという。

山本(新島)八重をはじめ城下の人々は、籠城戦の時、鐘の音を聞き勇気づけられました。

○堂内下には、音を響かせるため、陶器の大甕が埋められています。



ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、1945年発足。教育、科学、文化の分野で世界中の人々が協力しあい、相互理解を深め、共に生きる平和な地域社会をめざしています。

ユネスコは、1972年に「世界遺産条約」が採択され、1978年からは「世界遺産リスト」への登録を進めています。

平和の鐘は、平和について考え行動するきっかけとなることを願って、この時期に全国のユネスコ協会で実施しています。



主催 会津ユネスコ協会

会長 吉田 幸代

事務局 会津若松市生涯学習総合センター内 0242-22-4700

問合せ 事務局長 090-1378-8087 (石田明夫)